

平成 28 年度教員の教育力向上のための授業改善研修会 発表報告

発表者 丸山祐介

公開授業（分野）： 造形表現（工芸 A） （共通科目） / （専門科目）

対象学年（履修区分）： 1,2 年 （必修） / （選択必修）

公開日時：平成 28 年 9 月 28 日（水）1 限

■公開した授業の当該科目全体における位置づけ・進め方や工夫した点

公開した授業の位置づけ

【導入】

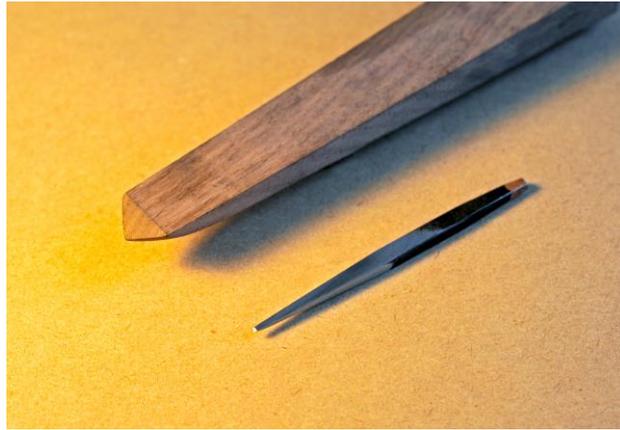
- ・ 工芸分野についての紹介、加工法による金工分野の違いを説明。
- ・ 課題説明
- ・ 授業内で学ぶ金工技法の説明及びデモンストレーション

進め方や工夫した点

- ・ A 系、V 系の学生も受講することを考慮し、絵やイラスト、平面構成によって表現できる工芸技法を選択した。
- ・ 仕上がりの大きさ、素材感をわかりやすく認識できるように原寸大のサンプルモデルを用意した。
- ・ 授業内で学ぶ「毛彫り」に用いる道具を制作するが、鑿の先端は非常に細かく形状が複雑なため、説明時に木製の拡大模型を用意した。
- ・ 作業内容をイメージし易いように金工技法のデモンストレーションを行った。
- ・ ゆっくり間を取りながら説明することを心掛けた。



毛彫り技法



毛彫り鑿（右）と木製の拡大模型

■参観者や研修会での意見交換を踏まえ、次年度への改善計画等

- ・ モニターを用いた工芸分野の紹介、金工技法の参考資料を見せる。
- ・ 靴等の私物置き場を用意しそこに置くように徹底させる。
- ・ 集中力が続くように説明や指導のタイミングを計る。
- ・ 参考作品を用意する。

学生作品

